

- ◆ 近畿財務局では、国立大学附属学校向けに財政教育プログラムを着実に実施しつつ、更なる連携先の拡大を見据え、**公立校等へのアプローチを実施。**
- ◆ **当局初となる公立高校及び私立高校での開催**や、租税教室との連携授業の中で財政教育プログラムを組み込み実施。
- ◆ 今後も財政教育プログラムを通じて、国立大学附属学校に留まらず、**公立校等との繋がりを広げるとともに引き続き一体改革広報に取り組んでいく。**

1. 成果事例の概要等

- 【経緯】
- 近畿財務局では、国立大学附属学校向け特別授業について着実に実施しつつ、更なる連携先の拡大を見据え、**公立校等、特に高校へ財政教育プログラムの実施に係るアプローチを実施。**
 - 継続的なアプローチの結果、当局管内において公立校を対象とした授業を初めて開催すると共に私立校でも開催。

【アプローチ状況】

①公立高校へのアプローチ

舞鶴出張所長自ら公立校を対象とした財政教育プログラムのPRを実施。複数回訪問するなど、**継続的なアプローチを続けることにより、担当教諭の理解を得て、実現にこぎつけた。**



講演の様様

②私立高校へのアプローチ

私立大学附属高校では受験がないため、授業計画の変更が柔軟で、展開しやすいのではないかと考えから、当局が大学で講義を行っており、関係の深い立命館大学の附属学校へアプローチを実施。

③講演会・教育委員会へのアプローチ

日本証券業協会が実施している近畿圏の中・高の教員を対象とした研究会へアプローチし、同プログラムを紹介する講演を実施したほか、奈良女子大学附属小学校での授業に合わせて、教育委員会と連携し、市立学校へ見学案内を実施(小・中・高計68校)。

2. これまでの取組の成果等

- 国立大学附属学校向けを含め、当局管内で**平成29年3月末までに11件開催。**
- 当局初となる公立高校での開催では、今後の更なる展開を見据えてカリキュラムの調整が比較的容易である1コマ(50分)で実施したほか、国税局と連携し、租税教室の中で、財政教育プログラムを組み込み実施。
- 和歌山大学附属中学校での授業では、公立校社会科での展開を見据えた授業内容を学校側と協働して検討し、事前授業を含めた教材を開発。
- 特別授業の講師について、児童・生徒により近い年齢層である**係長が講師を務め、講師の育成に取り組んだ。**

| 実施状況 | | | |
|------|----------|------------------|----|
| No | 年月日 | 開催校 | 学年 |
| 1 | 28.9.1 | 大阪教育大学附属平野小学校 | 小6 |
| 2 | 28.10.18 | 和歌山大学教育学部附属小学校 | 小6 |
| 3 | 28.11.5 | 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 | 高1 |
| 4 | 28.11.5 | 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 | 高2 |
| 5 | 28.12.20 | 京都府立西舞鶴高等学校 | 高1 |
| 6 | 29.1.20 | 滋賀大学教育学部附属中学校 | 中3 |
| 7 | 29.2.7 | 和歌山市立城東中学校 | 中3 |
| 8 | 29.2.10 | 京都府立東舞鶴高等学校 | 高1 |
| 9 | 29.2.16 | 奈良女子大学附属小学校 | 小6 |
| 10 | 29.2.24 | 和歌山大学教育学部附属中学校 | 中3 |
| 11 | 29.3.15 | 立命館宇治高等学校 | 高2 |

参加者からの声

- 財政は決して他人事ではなくて、自分達の未来にかかってくるのだと知りました。
- 自分たちが大きく関わるのはまだ消費税ぐらいだけど、身の回りのお金の動きを知れて良かったです。

3. 今後の課題と近畿財務局等の対応

＜近畿財務局の今後の対応＞

- 公立校は数も多いため、アプローチの糸口を模索中。また、前向きに検討している学校でもカリキュラムへの対応は時間がかかるため、**先生と連携しながら開催に向け着実に取り組む。**

今後も財政教育プログラムを通じて、国立大学附属学校に留まらず、公立校等との繋がりを広げるとともに引き続き一体改革広報に取り組んで参りたい。